

地域協議会だより

Vol. 54 (2021 年 12 月 22 日発行)

長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会

Y 師走の候

年の瀬も押し迫り、皆様におかれましては、ご多忙な日々をお過ごしのことと拝察いたします。

さて、今回の協議会だよりは、10 月 27 日(松川町)、28 日(山ノ内町)、において開催した、技術研修会の内容をご紹介します。

Y 技術研修会

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、規模を縮小して少人数での開催としました。

研修内容は、「技術研修会テーマ募集」の回答の中から、希望が多くあった「草刈機の安全な取扱い」、「多面的活動におけるドローンの活用方法と可能性」、「水路の簡易な補修マニュアル」、「鳥獣害防護柵の管理・補修等について」「機能診断の留意点」を選定しました。

今回は、「草刈機の安全な取扱い」と「多面的活動におけるドローンの活用方法と可能性」について掲載します。

【草刈機の安全な取扱い】

10 月 27 日(水)に、松川町(福与ふる里ふれあい館)において草刈機の安全な取扱いの技術研修会を行いました。当日は「福与の土と水を守る会」を中心に 23 名が参加しました。

多面的機能支払事業では、草刈機を使用した草刈は直営で行いますが、機械使用方法や対応を誤ると重大な事故につながります。

研修会では専門家を招き、草刈機の安全対策・基本操作について、より安全に作業するためのポイントや注意事項を交えて講義と現場実習を行いました。



研修会 (松川町: 福与ふる里ふれあい館)



《講義内容》

「草刈機の安全な取扱い」

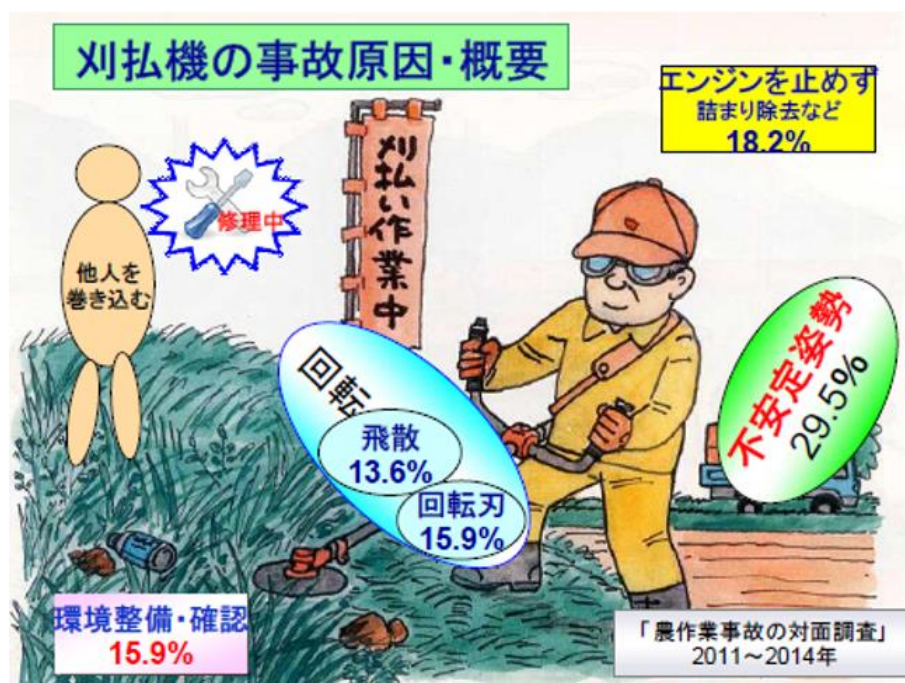
ヤンマーアグリジャパン(株)技術サービスグループ

山下 夕依 氏

1.草刈機事故の特徴

(1)刈払機の主な事故

- ①作業姿勢不安定(法面、傾斜面で滑った、転んだ等)
- ②回転による(回転刃のキックバックや小石やチップの飛散)
- ③環境の未確認(草むらに潜んでいたコンクリートの構造物や木株、小石などでの事故)
- ④エンジンを止めず(回転している刈り刃に絡まった草を取ろうとして負傷)



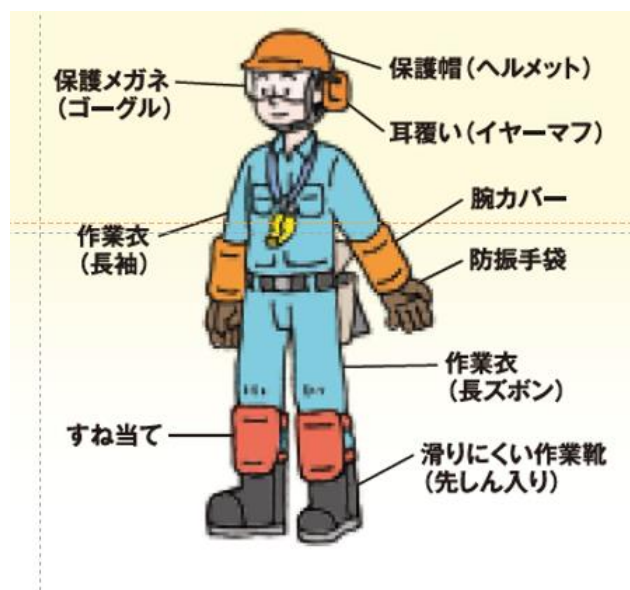
2.事故を軽減する安全意識と行動

(1)もしものときの携帯電話

- ・どんな近場でも携帯電話を持って出かけましょう
- ・機械の転落とともに携帯電話が飛ばされないよう、身につけましょう。

(2)安全なスタイルで農作業を行いましょう

- ・安全な農作業は服装を整えることから始めましょう。



3.安全な点検・整備作業をするために

- (1) 事故や思わぬ怪我から身を守るために、点検や整備を行う場合は取扱説明書を必ず読む。
- (2) 作業する場所は、平坦で十分な広さの所で換気に気を付ける。
- (3) 作業する服装は、作業帽(ヘルメット)・安全靴・作業着(つなぎ)など、作業に適した服装をする。
- (4) 作業する工具は、作業内容にあった正しい工具を使用する。



現 場 実 習

事故に備えて、保険の加入を

多面的機能支払の共同作業や直営施工で負傷した場合、労災保険給付の対象にはなりませんので、事故に備えて事前に任意保険(傷害保険や賠償責任保険など)にご加入ください。

【多面的活動におけるドローンの活用方法と可能性】

10月28日(木)に、山ノ内町「よませ活性化センター」において開催しました。当日は、「横前環境保全組合」を中心に20名が参加しました。

講師は、当協議会才川知利指導員(無人航空機操縦技能有資格・無人航空機安全運航管理者有資格)が、講義と実演を行いました。

当日は強風のため、鳥獣害対策の実践として予定していたブルーベリー園での鳥の追い払い中止とし、駐車場内での基本的な実演となりました。



研修会 (山ノ内町:よませ活性化センター)

【講義】

1. ドローンの区分と法規制

(1) 重量 200g 未満⇒操縦資格不要 但し飛行禁止区域あり

(2) 重量 200g 以上⇒操縦資格必要 航空法の対象

※ ドローンの操縦資格は「免許」ではありません。

なお、2022 年から導入される「免許制」は完全自動飛行のドローンによる宅急便等の高度な飛行が対象で、その他は従来とおり。

※ 一般的な操縦士資格は「国土交通大臣(航空局)」による「許可・承認」で、10 時間以上の飛行実績により自己申請



200g未満



1000g

2. ドローンを飛行させる時の注意点

(1) ドローンの天敵は「風」と「電線」

風速 5m以上は原則飛行禁止、障害物検知も電線は細すぎて不可

(2) ドローンは危険物

ナイフのように鋭いプロペラが 1 分間に 6,000 回(1 秒 100 回)以上回転しているので、当れば大けがの危険有

地域協議会だより

- (3) 搭載しているリチウムポリマー電池の充電方法の間違や、墜落で破損した場合など、最悪発火爆発



高速回転するプロペラ



電池破損による発火

3. ドローンでできること

- (1) 写真・動画撮影(写真から作物の生育状況を判断できるソフトも開発)
- (2) 災害状況調査
- (3) 鳥獣害対策 (赤外線カメラによる行動範囲の把握・鳥の追い払い)



室内での実演



屋外での実演

事務局から

技術研修会は昨年同様コロナ過での開催となり、参加者を限定しました。

「コンクリート水路の目地補修」「鳥獣害防護柵の管理・補修等」については、次回の「協議会だより」で紹介します。

■問い合わせ先

長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会
(担当: 田中・白石)

TEL 026-219-6351 FAX 026-219-6352

Eメール nagano-tamenteki@wonder.ocn.ne.jp

URL <http://www.nagano-nouchimizu.net/>